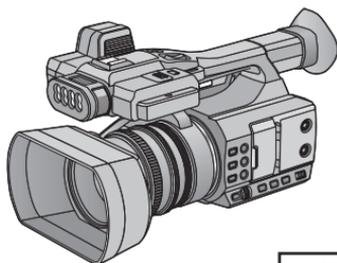


Panasonic®

取扱説明書（基本編）

メモリーカードカメラレコーダー

品番 AG-AC30



保証書付き

安全上のご注意

準備

撮影

再生

メニュー

大事なお知らせ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（3～8ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

さらに詳しい説明は、取扱説明書（PDF形式）に記載されています。
下記サイトでご確認ください。

<http://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>

- PDF ファイルをご覧いただくには、Adobe Reader が必要です。下記のサイトからダウンロードできます。（2017年2月現在）

<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html>

AVCHD™
Progressive

HDMI

SDXC™
I

DOLBY
DIGITAL

SS0217SQ2078-FJ
Printed in Japan

JAPANESE

SQT1449-2

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください(3～8ページ)

準備

使用上のお願い.....	9
必ずお読みください.....	14
付属品 / 別売品.....	16
• 付属品 (16)	
• 別売品 (16)	
本機でできること.....	17
• SD カードに記録 (17)	
• 外部機器との連携 (17)	
各部の名前.....	19
電源の準備.....	25
• バッテリーを付ける / 外す (25)	
• バッテリーを充電する (26)	
• 充電時間と撮影可能時間の目安 (27)	
カードの準備.....	28
• 本機で使えるカード (28)	
• SD カードを入れる / 出す (29)	
電源を入れる / 切る.....	30
モードを選ぶ.....	30
液晶モニター / ファインダーを使う.....	31
• 液晶モニターを使う (31)	
• タッチパネルの操作について (32)	
• ファインダーの調整 (32)	
時計を設定する.....	33

撮影

記録するメディアを選ぶ.....	34
• メディアフォーマット (34)	
ビデオを撮る.....	35
写真を撮る.....	35
インテリジェントオート / マニュアル.....	36
ズーム.....	37
マニュアル撮影.....	38
• フォーカス (38)	
• ホワイトバランス (38)	
• アイリス (絞り) / ゲイン調整 (39)	
• シャッタースピード (39)	
USER ボタン.....	40
• USER ボタンを設定する (40)	
• USER ボタンを使う (40)	
• USER ボタンの機能 (41)	

再生

ビデオ / 写真を再生する.....	42
--------------------	----

メニュー

メニューを使う.....	44
メニューの構成.....	45

大事なお知らせ

著作権について.....	47
定格.....	49
保証とアフターサービス (よくお読みください).....	51
無料修理規定.....	55
保証書.....	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

危険



- 指定以外のバッテリーパックを使わない
- バッテリーパックの端子部(⊕・⊖)に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない
- バッテリーパックを分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、加熱、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- バッテリーパックを電子レンジやオーブンなどで加熱しない
- バッテリーパックを炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要(寿命)になったバッテリーについては、10ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

危険



バッテリーパックは、本機または専用のバッテリーチャージャー（別売品）で充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

警告



異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- ・煙が出たり、異常なおいや音がある
- ・映像や音声が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・電源プラグが異常に熱い
- ・本体や AC アダプターが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- AC アダプターは電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。
- AC アダプターを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- 電源を切り、販売店にご相談ください。



接触禁止

雷が鳴り出したら、本機の金属部や AC アダプターなどの電源プラグに触れない

感電の原因になります。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V ~ 240 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

警告



電源コード・プラグを破損するようなことはしない
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、
引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない
ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないください。



可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わないください。



メモリーカード (別売品)、マイクホルダー用ねじ、INPUT 端子
キャップは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。



乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中でも周囲の状況、路面の状況に十分注意する。



運転者などに向けて内蔵 LED ライトを点灯しない

事故の誘発につながります。

警告



電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど*の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。
*血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。



ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。



分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。



電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

注意



レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない
集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。



本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。



三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない

三脚を取り付けると、三脚の重量も本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になることがあります。

- 三脚を取り付けているときは、必ず三脚を持って持ち運びしてください。



ハンドルを持って振り回したり、揺さぶったり、振り下ろしたりしない

ハンドルを持って強い衝撃を加えると、ハンドルが破損し、けがの原因になることがあります。



コードやショルダーベルトを下に垂らしたり、接続したコードを通路で引き回したりしない

足などを引っ掛けると、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。また、けがの原因になることがあります。



異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60℃以上）になります。

本機やバッテリー、AC アダプターなどを絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。

- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。



油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

⚠ 注意



本機や AC アダプターの放熱を妨げない

- 押入れや本箱など、狭いところに入れない
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。



内蔵 LED ライトの点灯中は、照明部を直接見ない

内蔵 LED ライトを人の目に近づけて点灯しない

強い光により、目を痛める原因になることがあります。



内蔵 LED ライトの点灯部分を直接手で触らない

ごみなどの異物が付いたまま使わない

テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。

- 消灯後も、しばらく触らないでください。

- 付属のフィルターを外すときは、フィルターの左右をつかんで取り外してください。



長期間使わないときや、お手入れのときは、バッテリーを外し、AC アダプターの電源プラグを抜く

電源プラグ
を抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- カードは、保護のため取り出しておいてください。



病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。



ヘッドホン使用前に、本機の音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- ヘッドホンは耳に装着する前に、音量を下げてください。
- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

使用上のお願い

本機について

使用中は本体や SD カードが温かくなりますが、異常ではありません。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（携帯電話、電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、映像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、映像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプターを一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影映像や音声が悪くなる場合があります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする

また海水などでぬらさないようにする

- 砂やほこりは、本機の故障につながります。（SD カードの出し入れ時はお気をつけください）
- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

本機を持ち運ぶときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れ、故障するおそれがあります。
- 本機を持ち運ぶときは、ハンドルやグリップベルト、ショルダーベルトを持ち、丁寧に取り扱いしてください。

お手入れ

お手入れの際は、バッテリーを外しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

長期間使用しない場合について

- 保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをお勧めします。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または低くなるほど影響が大きくなります。温度の低いところでは、満充電表示にならない場合や、使用開始後5分くらいでバッテリー警告表示が出る場合があります。また高温になると保護機能が働き、使用できない場合もあります。

使用後は、必ずバッテリーを外して保管する

- 付けたままにしておく、本機の電源を切っても、絶えず微小電流が流れています。そのままにしておく、過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- 端子部に金属が触れないようにビニールの袋に入れて保管してください。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。(推奨温度：15℃～25℃、推奨湿度：40%RH～60%RHです)
- 極端に低温、高温になるところで保管すると、バッテリーの寿命が短くなる場合があります。
- 高温・多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因になります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、本機で充電容量を使いきってから再保管することをお勧めします。
- バッテリーの端子部に付いたほこりなどは取ってください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- 撮影したい時間の3～4倍のバッテリーを準備してください。スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
- 旅行するときは、現地でバッテリーを充電できるようにACアダプターも忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。(P26)

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本体に付けると、本体をいためます。

不要(寿命になったなど)バッテリーは火中などに投入しない

- 加熱したり火中などに投入すると、破裂するおそれがあります。

充電直後でもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い求めください。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ: <http://www.jbrc.com>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



充電式

リチウムイオン

電池使用

Li-ion 20

AC アダプターについて

- バッテリーの温度が非常に高い、または非常に低い場合、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。
- ラジオ（特に AM 受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は 1 m 以上離してください。
- 使用中、AC アダプターの内部で発振音がある場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしていると、AC アダプター単体で約 0.1 W の電力を消費しています）
- AC アダプター、バッテリーの端子部を汚さないでください。

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

充電時の充電ランプについて

充電ランプが点滅するときは、以下の状態が考えられます。

約 4 秒間隔で点滅

（約 2 秒点灯、約 2 秒消灯）：

- バッテリーが過放電されている場合、あるいはバッテリーの温度が高いまたは低い場合です。充電はできませんが、場合によっては正常に充電が完了するまでに数時間かかる場合があります。
- 正常な充電になると、緑色点灯に変わります。その場合でもご使用の環境により、充電完了までに約 4 秒間隔の点滅になる場合があります。

約 0.5 秒間隔で点滅

（約 0.25 秒点灯、約 0.25 秒消灯）：

- 充電ができていません。一度バッテリーを本機から取り外してから、再度充電してください。
- 本機やバッテリーの端子部にごみや異物、汚れが付着していないか確認し、正しく接続し直してください。
ごみや異物、汚れが付着している場合は、本機の電源を切ってから取り除いてください。
- バッテリーや周囲の温度が極端に高すぎる、もしくは低すぎます。適温になるまで待ってから、再度充電してください。それでも充電できないときは、本体やバッテリー、AC アダプターなどの故障とされます。

消灯：

- 充電が完了しています。
- 充電が完了していないのに、充電ランプが消灯しているときは、本体やバッテリー、AC アダプターの故障とされます。
バッテリーについて、詳しくは 10 ページをお読みください。

SD カードについて

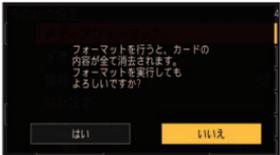
長時間ご使用になると本機表面や SD カードが多少熱くなりますが、故障ではありません。

- SD カードのラベルに記載されているメモリー容量は、著作権の保護・管理のための容量と、本機やパソコンなどで通常のメモリーとして利用可能な容量の合計です。
- SD カードに強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 電気ノイズや静電気、本機や SD カードの故障などにより SD カードのデータが壊れたり、消失することがあります。

SD カードにアクセス中（表示中や動作中ランプ点灯中）は、以下の動作を行わない

- － SD カードを抜く
- － 電源を切る
- － USB 接続ケーブルを抜き差しする
- － 振動や衝撃を与える

メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

- 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
 - 廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、本機でメモリーカードを物理フォーマットすることをお勧めします。
 - 物理フォーマットするには、本機を AC アダプターとつないで、メニューから「その他の設定」→「メディアフォーマット」→「カード 1」または「カード 2」を選び、「はい」をタッチしてください。右記の画面で撮影開始 / 一時停止ボタンを約 3 秒間押し続けます。SD カードデータ消去の画面が表示されますので、「はい」を選び、画面の指示に従ってください。
- 
- メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

取り扱い上のお願

- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。
- 次のような場所に置かない。
 - － 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
 - － 湿気やほこりの多いところ
 - － 温度差の激しいところ（露付きが発生します）
 - － 静電気や電磁波が発生するところ
- 使用後は袋やケースに収める。

液晶モニター / ファインダーについて

- 液晶面が汚れたときや露付きが起こったときは、めがねふきのような柔らかい布でふいてください。
- 液晶モニターにつめを立ててタッチしたり、強い力でこすったり、押ししたりしないでください。
- 液晶保護シートを貼ると、見えにくくなったり、タッチしても認識しにくくなる場合があります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニター / ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニター / ファインダーの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。

液晶モニター / ファインダーのドットについては 99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下でドット欠けや常時点灯するものがあります。また、これらのドットは映像には記録されませんのでご安心ください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

必ずお読みください

■ ビデオ撮影時の記録方式について

本機は MOV、MP4、AVCHD *の 3 種類の記録方式でビデオ撮影できます。

* AVCHD Progressive (1080/60p) に対応しています。

MOV、MP4 とは：

映像編集に適した記録方式です。音声記録方式はリニア PCM です。

- AVCHD で記録したビデオと互換性はありません。

AVCHD とは：

ハイビジョン対応のテレビでの再生に適しています。音声記録方式は Dolby® Digital です。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影のときには、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

撮影内容の補償はできません

本機および SD カードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。また、本機を修理した場合においても同様です。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ セキュリティーについて

本機の盗難、遺失や放置には十分お気をつけください。それらによる情報の漏えい、改ざん、消失については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ レーザー光線について

レーザー光線がレンズに照射されると、MOS センサーを破損するおそれがあります。レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分お気をつけください。

■ 本書内の写真、イラストについて

本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

■ 本書での記載について

以下のように記載しています。

- バッテリーパック→「バッテリー」
- SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカード→「SD カード」
- 撮影モードで使える機能→ 、再生モードで使える機能→ 
- 記録モード「MOV」、「MP4」で記録したシーン→「MOV/MP4 のシーン」
- 記録モード「AVCHD」で記録したシーン→「AVCHD のシーン」
- 参照いただくページ→ P00

■ 露付き（レンズやファインダー、液晶モニターが曇るとき）について

露付きは、屋外や寒い部屋から暖かい部屋に持ち込むなど、温度差や湿度差があると起こります。レンズ、ファインダーや液晶モニターの汚れ、かび、故障の原因となりますのでお気をつけください。

温度差のある場所へ持ち込むときは、約 1 時間移動先の室温になじませると、露付きを防止することができます。（温度差が激しい場合は、ビニール袋などに本機を入れ、空気を抜き、密封してください）

露付きが起こった場合、バッテリーや AC アダプターを外して、約 1 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむと曇りが自然に取れます。

付属品 / 別売品

付属品



以下の付属品がすべて入っているかお確かめください。

<input type="checkbox"/> バッテリーパック※ ¹ 	<input type="checkbox"/> AC アダプター 	<input type="checkbox"/> 電源コード 
<input type="checkbox"/> レンズキャップ (P22) 	<input type="checkbox"/> マイクホルダー (P23) 	<input type="checkbox"/> INPUT 端子キャップ (2 個) ※ ² 
<input type="checkbox"/> マイクホルダー用ねじ (P23) 長さ 12 mm (2 個) 	<input type="checkbox"/> アイカップ (P23) 	<input type="checkbox"/> レンズフード※ ³ 
<input type="checkbox"/> 拡散フィルター (白色) (P24) 	<input type="checkbox"/> 色温度変換フィルター (アンバー色) (P24) 	

※ 1. 「バッテリーパック」の品番は、AG-VBR59 です。追加でバッテリーパックをご購入の際は、別売品を参照してください。付属品の追加ご購入は販売店にご相談ください。

※ 2. INPUT 端子キャップはマイクホルダーに同梱しています。

※ 3. お買い上げ時は本機に装着されています。

- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

別売品

本機では以下の別売品がお使いいただけます。

品名 (品番)

- バッテリーチャージャー (AG-BRD50)
- バッテリーパック (VW-VBD58/AG-VBR59/AG-VBR89)
- フィルターキット (VW-LF49N)
- 超指向性マイクロホン (AG-MC200G)

別売品の品番は、2017年2月現在のものであります。変更されることがあります。

本機でできること

SD カードに記録

さまざまな撮影機能で SD カードにビデオや写真を記録することができます。

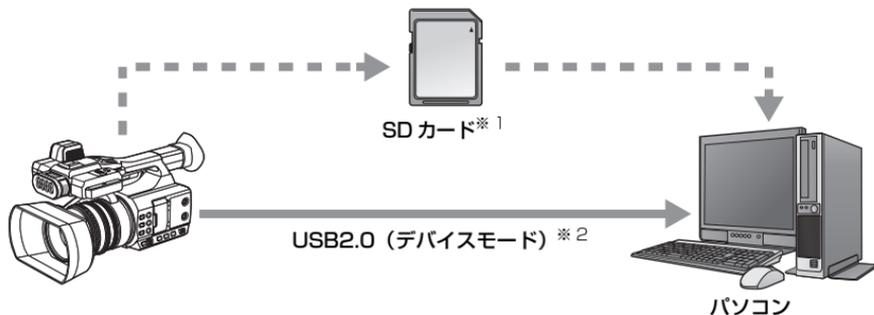
- ダブルカードスロットによる、リレー/サイマル記録に対応しています。

外部機器との連携

USB デバイスモード

パソコンなどでノンリニア編集を行うためのデータ（ファイル）転送をします。

- 本機は USB2.0 に対応しています。



※ 1. SD カードは別売品です。本機には同梱されていません。

※ 2. 本機に USB2.0 ケーブルは同梱されていません。市販の USB2.0 ケーブルは、フェライトコア付き二重シールドケーブルをご使用ください。なるべく 1.5 m 以内のケーブルのご使用をお勧めします。

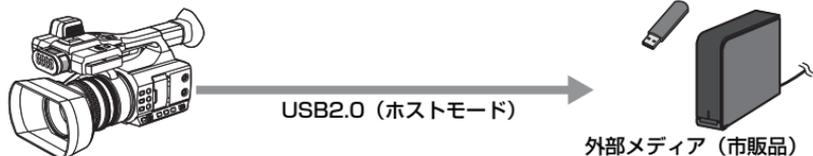
USB ホストモード

市販のUSBハードディスクやUSBフラッシュメモリーなどの外部メディアと本機を接続すると、本機で記録したビデオや写真を外部メディアにコピーすることができます。また、外部メディアにコピーしたシーンや写真を再生することもできます。

- 本機はUSB2.0に対応しています。

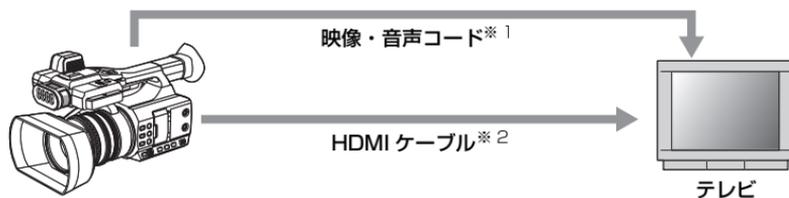
外部メディアについての情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>



テレビとの接続

テレビと接続して、映像を出力します。

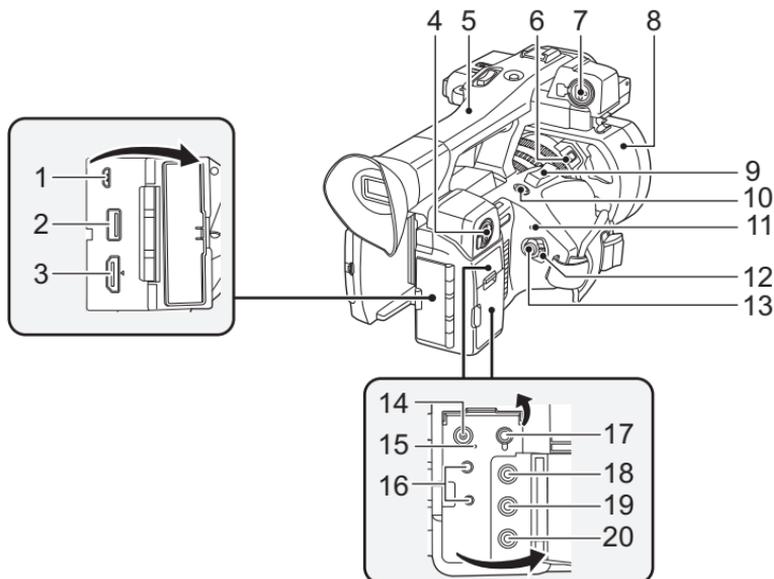


- ※ 1. 市販の映像・音声コードをご使用ください。
- ※ 2. 市販のHDMIケーブルは、High Speed HDMIケーブルをご使用ください。なるべく3m以内のケーブルのご使用をお勧めします。

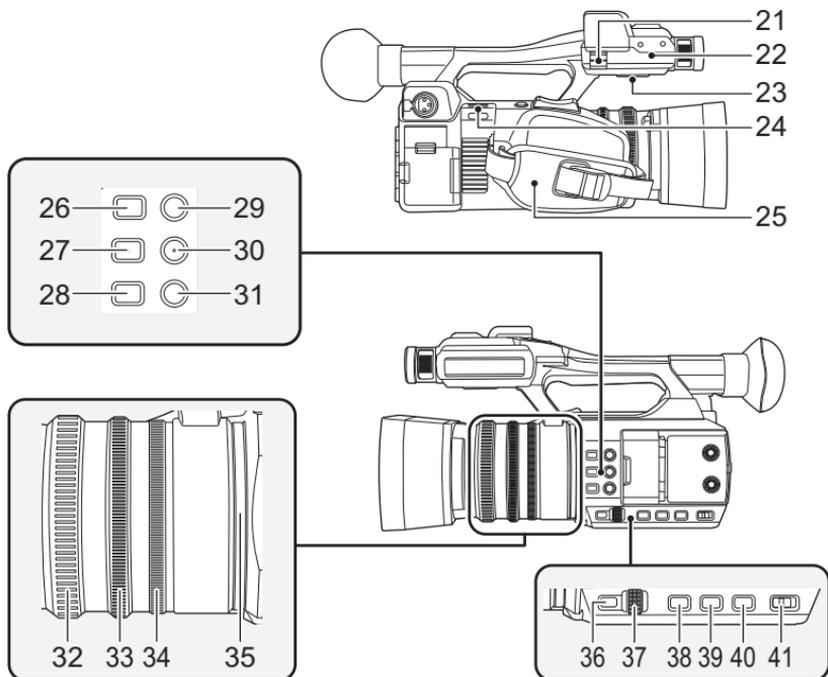
DVI変換器等を使ってHDMIケーブルで接続を行う場合、必ず最後に本機のHDMI OUT端子に接続してください。最初に本機のHDMI OUT端子に接続すると、故障の原因となる場合があります。

各部の名前

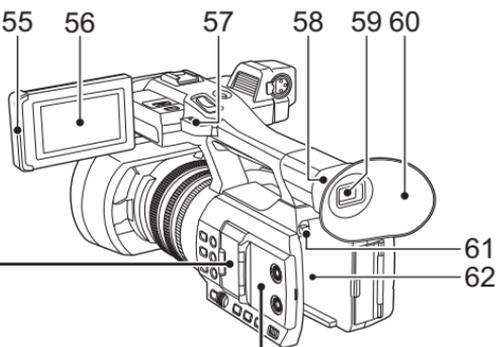
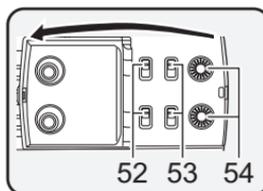
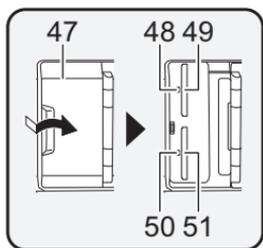
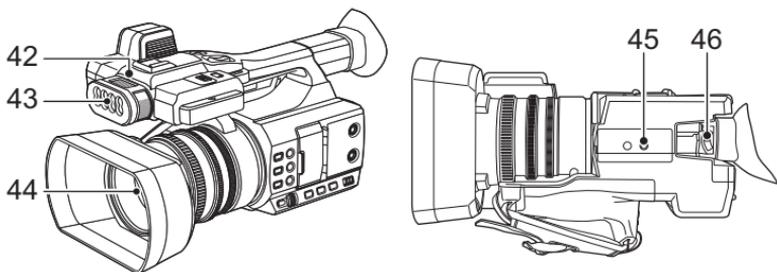
準備



- | | | | |
|----|---------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 1 | USB DEVICE 端子 | 14 | DC 入力端子 [DC IN] (P26) |
| 2 | USB HOST 端子 | 15 | 充電ランプ [CHG] |
| 3 | HDMI OUT 端子 [HDMI] | 16 | CAM REMOTE 端子 |
| 4 | AUDIO INPUT2 端子 (XLR3 ピン)
(P24) | <ul style="list-style-type: none"> ● FOCUS IRIS 端子 (3.5 mm 径ミニジャック) ● ZOOM S/S 端子 (2.5 mm 径スーパーミニジャック) | |
| 5 | ハンドル | 17 | ヘッドホン出力端子 [] |
| 6 | レンズフード取り外しボタン | 18 | VIDEO OUT 端子 |
| 7 | AUDIO INPUT1 端子 (XLR3 ピン)
(P24) | 19 | AUDIO OUT L (CH1) 端子
[AUDIO OUT L] |
| 8 | レンズフード | 20 | AUDIO OUT R (CH2) 端子
[AUDIO OUT R] |
| 9 | 撮影時:ズームレバー [T/W] (P37)
再生時:ボリュームレバー [+VOL-]
サムネール表示切り換え [Q/] | | |
| 10 | USER5 ボタン [REC CHECK] (P40) | | |
| 11 | 動作表示ランプ (P30) | | |
| 12 | 電源スイッチ (P30) | | |
| 13 | 撮影開始 / 一時停止ボタン (P35) | | |



- 21 マイクケーブルクランプ (P24)
- 22 マイクホルダー取り付け部 (P23)
- 23 スピーカー
- 24 ショルダーベルト取り付け部 (P23)
- 25 グリップベルト (P22)
- 26 USER4 ボタン [FOCUS ASSIST]
- 27 FOCUS A/M/ ∞ボタン (P38)
- 28 IRIS ボタン (P39)
- 29 USER1 ボタン [LCD/EVF] (P40)
- 30 USER2 ボタン [B.LIGHT] (P40)
- 31 USER3 ボタン [O.I.S.] (P40)
- 32 フォーカスリング (P38)
- 33 ズームリング (P37)
- 34 アイリスリング (P39)
- 35 リング LED
- 36 MENU ボタン (P44)
- 37 ジョグダイヤル [SEL/PUSH SET] (P38)
- 38 GAIN ボタン (P39)
- 39 WHITE BAL ボタン (P38)
- 40 SHUTTER ボタン (P39)
- 41 インテリジェントオート / マニュアルスイッチ [iA/MANU] (P36)



42 撮影ランプ

43 内蔵 LED ライト

44 レンズ

45 三脚取り付け穴

- 三脚取り付け穴は 1/4-20UNC のねじに対応しています。
- ねじの長さが 5.5 mm 以上の三脚を取り付けると、本機を傷つける場合があります。

46 視度調整レバー (P32)

47 カード スロットカバー (P29)

48 動作中ランプ (カード 1) (P29)

49 カードスロット 1 (P29)

50 動作中ランプ (カード 2) (P29)

51 カードスロット 2 (P29)

52 INPUT1/INPUT2 スイッチ

53 CH1/CH2 スイッチ

**54 AUDIO LEVEL CH1/
AUDIO LEVEL CH2 つまみ**

55 液晶モニター引き出し部 (P31)

56 タッチパネル / 液晶モニター (P32)

57 ショルダーベルト取り付け部 (P23)

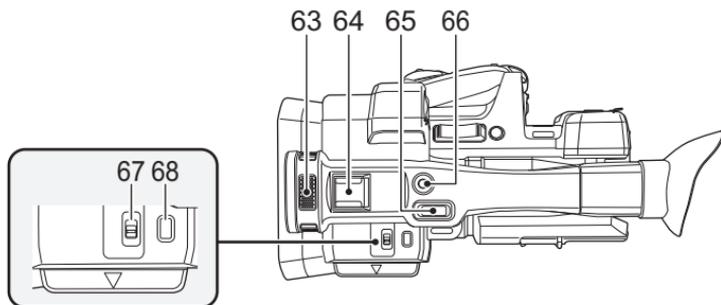
58 アイカップ取り付け部 (P23)

59 ファインダー (P32)

60 アイカップ (P23)

61 バッテリー取り外しボタン [PUSH] (P25)

62 バッテリー取り付け部 (P25)



63 内蔵マイク

64 アクセサリーシュー

65 サブズームレバー (P37)

66 サブ撮影開始 / 一時停止ボタン

● 撮影開始 / 一時停止ボタンと働きは同じです。

67 LED LIGHT スイッチ

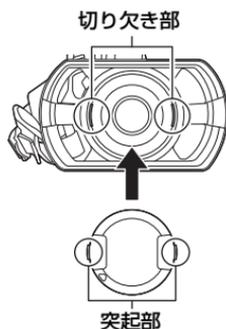
● 内蔵 LED ライトの点灯 / 消灯を切り換えます。
ON : 点灯 OFF : 消灯

68 THUMBNAIL ボタン (P30)

■ レンズキャップを取り付ける / 取り外す

本機を使用しないときは、レンズ保護のためレンズキャップを付けてください。

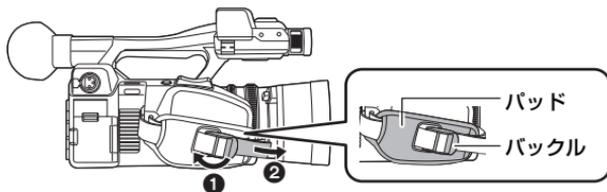
- レンズキャップの取っ手を持ちながら、付け外ししてください。
- レンズキャップの左右の突起部を水平にし、レンズフードの切り欠き部に合わせて、カチッと音がするまで押し込んで取り付けてください。



■ グリップベルトの調整

手の大きさに合わせてグリップベルトを調整してください。

- バックルが締めにくい場合は、パッドを前方へずらして締め直してください。



① バックル部分を開く

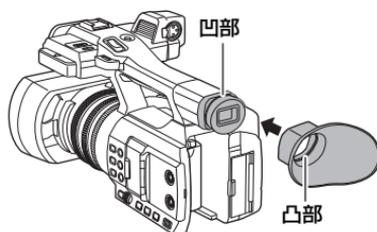
② ベルトの先端を引っ張る

■ アイカップを取り付ける

アイカップ取り付け部の凹部とアイカップの内側の凸部を合わせて取り付けてください。

- 下記は右目で使用する場合の取り付け例です。

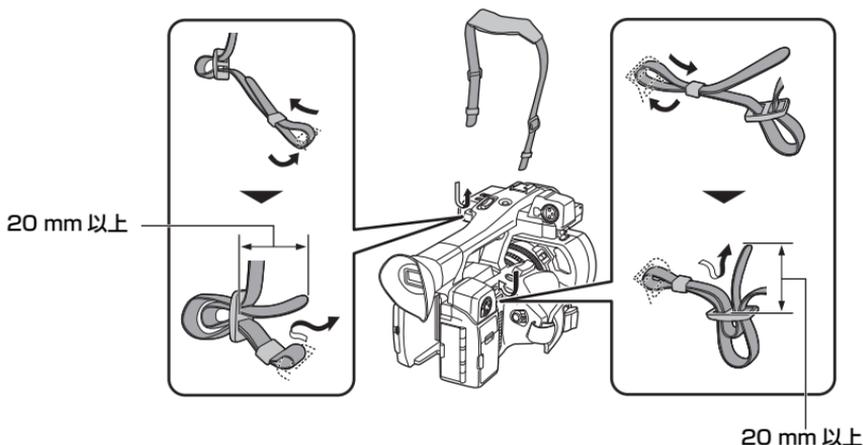
アイカップを左側に 180° 回転させて取り付けると、左目で使用することもできます。



■ ショルダーベルトを取り付ける

本機を落とさないように、ショルダーベルト（市販品）を取り付けることをお勧めします。

準備



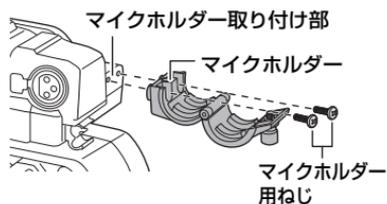
■ フロントマイクを取り付ける

マイクホルダーは 21 mm 径の外部マイク（別売品：AG-MC200G）が取り付けられるように設定しています。

ご使用になるマイクが取り付け可能か事前にご確認ください。

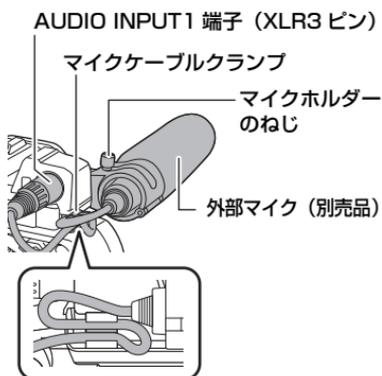
1) マイクホルダー取り付け部に マイクホルダーを取り付ける

- 市販のドライバーを使って取り付けてください。
- マイクホルダー用ねじを取り付ける際にゴムとの摩擦音がありますが、しっかりと締め付けてください。



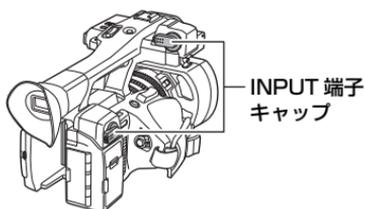
- 2) マイクホルダーに外部マイク（別売品）を取り付けて、マイクホルダーのねじを締める
- 3) 外部マイクを AUDIO INPUT1 端子（XLR3 ピン）に接続する

- マイクケーブルの配線処理には、本機のマイクケーブルクランプを使用してください。



■ INPUT 端子キャップを取り付ける

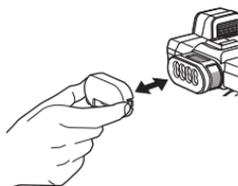
AUDIO INPUT1/2 端子（XLR3 ピン）を使用しない場合は、INPUT 端子キャップを取り付けてください。



■ 内蔵 LED ライトのフィルターを取り付ける / 取り外す

付属の拡散フィルター、色温度変換フィルターを取り付けることができます。

（取り付け方 / 取り外し方）



- カチッと音がするまで押し込んでください。
- 取り外すときは、フィルターの左右をつかんで外してください。

🔪 お知らせ

- 各フィルターの効果については、取扱説明書（PDF 形式）をお読みください。

電源の準備

本機で使えるバッテリー（2017年2月現在）

本機で使えるバッテリーは VW-VBD58/AG-VBR59/AG-VBR89 です。

- AG-VBR59/AG-VBR89 は、急速充電に対応しています。急速充電するには、バッテリーチャージャー（AG-BRD50：別売品）をご使用ください。

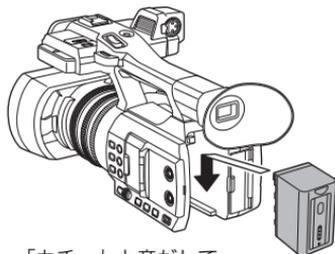
パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。

なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

準備

バッテリーを付ける / 外す

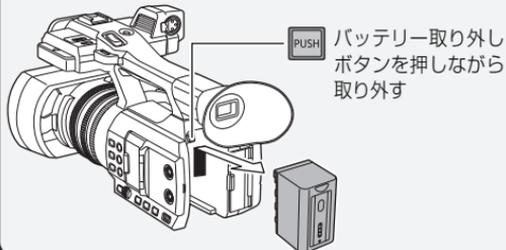
バッテリーを図の向きに取り付ける



「カチッ」と音がして、
ロックがかかるまで
押し込む

バッテリーを外すには

必ず電源スイッチを「OFF」にし（P30）、動作表示ランプの消灯を確認してから、落下させないよう手で支えて取り外してください。

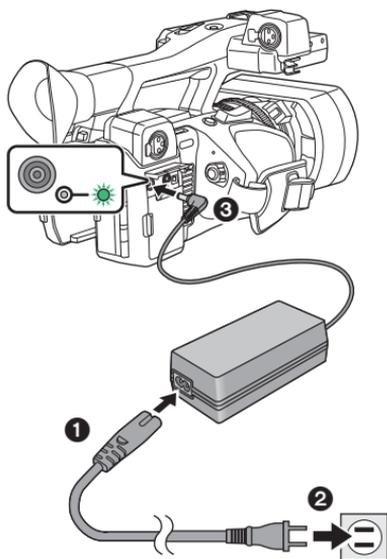


PUSH バッテリー取り外し
ボタンを押しながら
取り外す

バッテリーを充電する

お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、十分に充電してからお使いください。

- AC アダプターは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 電源が入の場合でも充電できます。
- 充電は周囲の温度が 10℃～30℃(バッテリーの温度も同様)のところで行うことをお勧めします。



1 電源コードを AC アダプターにつなぐ

- 電源コードは ①② の順に、奥に突き当たるまで差し込んでください。

2 DC 入力端子 [DC IN] に AC アダプターをつなぐ

- 充電ランプが緑色点灯し、充電が始まります。充電が完了すると消灯します。
- 充電ランプが点滅するときは、11 ページをお読みください。
- AC アダプターの DC プラグの向きによっては、充電ランプが見えにくくなることがあります。充電ランプを確認するときには、DC プラグの角度を調整してください。

🔪 お知らせ

■ 電源コンセントにつないで使うときは

AC アダプターを接続して本機の電源を入れると、コンセントから電源を供給しながら使用できます。

AC アダプターに接続して撮影する場合は、停電やコンセント抜けで電源が切れることを防ぐため、バッテリーと併せて使用してください。

- 電源スイッチを「OFF」にして電源を切った状態でも、電力を消費しています。長期間使用しないときは、節電のため、AC アダプターを電源コンセントから抜いてください。

■ 海外で使うには

AC アダプターは全世界の電源電圧 (100 V – 240 V)、電源周波数 (50 Hz、60 Hz) で動作するように設計されています。ただし、国によって電源コンセントの形状は異なります。その国に合ったプラグを準備してください。変換プラグはお買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。

充電時間と撮影可能時間の目安

充電時間 / 撮影可能時間

バッテリー品番	電圧 / 容量 (最小)	本体充電時間	連続撮影可能時間	実撮影可能時間
AG-VBR59 (付属 / 別売)	7.28 V/5900 mAh	約 5 時間 30 分	約 8 時間 30 分 (約 8 時間 30 分)	約 4 時間 30 分 (約 4 時間 30 分)

- 充電時間は、本機の電源が切の場合の時間です。
- 動作周囲温度 25℃、動作相対湿度 60% での時間です。その他の温度や湿度では、充電時間が長くなる場合があります。
- 連続撮影可能時間および実撮影可能時間は次の条件での時間です。その他の条件では、撮影可能時間は短くなります。
 - － 「記録モード」を「AVCHD」、「記録フォーマット」を「PH1080/59.94i」に設定時
 - － ファインダー使用時（カッコ内は液晶モニター使用時）
 - － 外部出力端子にケーブルを挿していない状態
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。高温 / 低温時など、使用状況によって充電時間、撮影可能時間は変わります。
- 本機の電源が入っている場合は、充電時間が上記の表より長くなる場合があります。

お知らせ

- 実撮影可能時間とは、撮影 / 停止、電源の入 / 切、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。
- 使用後や充電後はバッテリーが温かくなりますが、異常ではありません。

バッテリー残量表示について

- バッテリーの残量が少なくなるに従って、 →  →  →  →  と表示が変わります。容量がなくなると  が赤色で点滅します。
- 本機の電源が入っているときに充電している場合、 が画面に表示されます。充電が完了すると  が消えます。
- 充電ランプが点滅している間は、 が消えていても充電は完了していません。

カードの準備

本機は SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードにビデオや写真を記録することができます。

- 当社製メモリーカードのご使用をお勧めします。

本機で使えるカード

■ ビデオ撮影時のスピードクラスについて

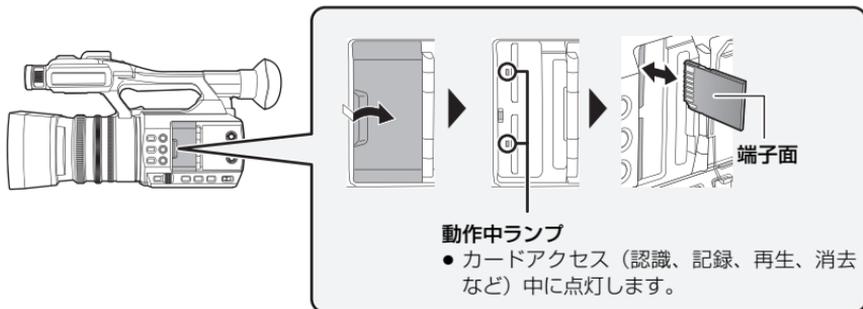
- 「記録モード」および「記録フォーマット」によって必要なカードが異なります。以下の SD スピードクラスや UHS スピードクラスに対応したカードをお使いください。対応していないカードをお使いの場合は、撮影が突然停止することがあります。
- SD スピードクラスや UHS スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

記録モード	記録機能または記録フォーマット	スピードクラス	表示の例
MOV/MP4	スーパースロー記録	UHS Speed Class3	
	50 Mbps	UHS Speed Class1 以上	
		Class10 以上	
AVCHD	すべて	Class4 以上	

SD カードを入れる / 出す

SD カードを本機で初めてお使いの場合は、まずフォーマットしてください。(P34) フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。

動作中ランプの消灯を確認してください。



準備

1 カードスロットカバーを開いて、カードスロットに SD カードを入れる (出す)

- カードスロット 1 / カードスロット 2 に、SD カードを 1 枚ずつ入れることができます。
- 入れるときは端子面を図の方向に向けて、「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込みます。
- 出すときは、SD カードの中央部を押し込んで、まっすぐ引き抜きます。

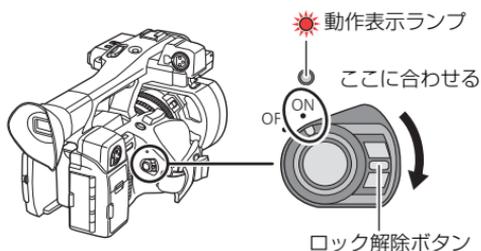
2 カードスロットカバーを閉じる

🔪 お知らせ

- SD カードの裏の接続端子部分に触れないでください。
- SD カードの取り扱いについて詳しくは、12 ページをご覧ください。

電源を入れる / 切る

ロック解除ボタンを押しながら、電源スイッチを「ON」に合わせて電源を入れる



動作表示ランプが点灯します。

【電源を切るには】

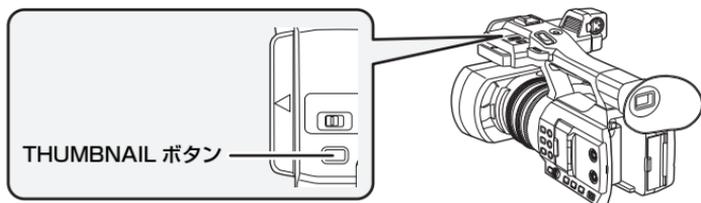
ロック解除ボタンを押しながら、電源スイッチを「OFF」に合わせてください。動作表示ランプが消灯します。

お知らせ

- 「エコモード（バッテリー）」または「エコモード（AC）」が動いたあとに電源を入れ直すには、電源スイッチを一度「OFF」に合わせてから「ON」に合わせてください。

モードを選ぶ

THUMBNAIL ボタンを押して、撮影モードと再生モードを切り換える



撮影モード（P35）	撮影画面が表示され、ビデオや写真を記録できます。
再生モード（P42）	再生のサムネイル表示画面になり、ビデオや写真を再生できます。

お知らせ

- 電源を入れたときは、撮影モードで起動します。
- 再生モード時に撮影開始 / 一時停止ボタンまたはサブ撮影開始 / 一時停止ボタンを押すと、撮影モードに切り換わり、撮影を開始します。

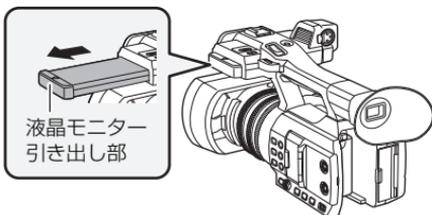
液晶モニター / ファインダーを使う

液晶モニターを引き出すとファインダーが消灯し、液晶モニターが点灯します。
液晶モニターを収納するとファインダーが点灯します。

液晶モニターを使う

1 図の向きに液晶モニターを引き出す

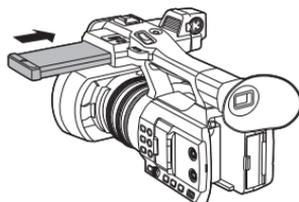
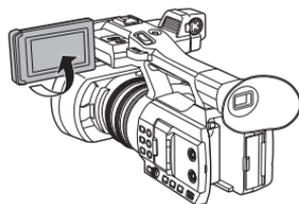
- 液晶モニター引き出し部を持ちながら、「カチッ」と音がするまで引き出してください。



2 見やすい角度に回転させる

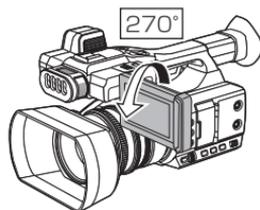
【液晶モニターを収納するには】

液晶面を下向きにして図のように収納してください。



【液晶モニターの回転範囲】

- レンズ方向に 270° まで回転します。



準備

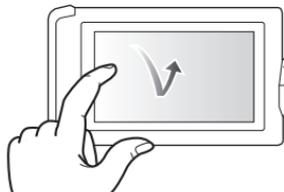
タッチパネルの操作について

指で液晶モニター（タッチパネル）を直接タッチして操作します。

■ タッチする

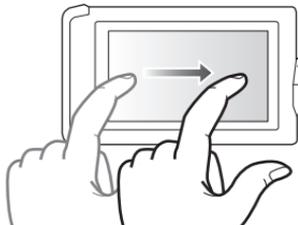
タッチパネルを押して離す動作で選択します。

- アイコンの中央部をタッチしてください。
- タッチパネルに触れている状態で、他の箇所をタッチしても動作しません。



■ タッチしながらスライドする

タッチパネルを押したまま動かす動作です。



■ よく使うアイコンについて

▲/▼/◀/▶:

ページを切り換えたり、設定するときにタッチします。



✎ お知らせ

- ボールペンなど、先のとがった硬いものでタッチしないでください。

ファインダーの調整

- 実際に記録される映像には影響しません。

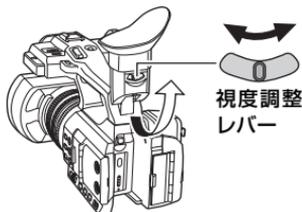
視度調整

ファインダーの画像がよく見えるように調整します。

1) ファインダーを見やすい位置にする

- ファインダーを動かすときは指を挟まないように気をつけてください。
- ファインダーは約 90° まで垂直に起こすことができます。
- ファインダーを点灯させてください。

2) 視度調整レバーを動かして調整する



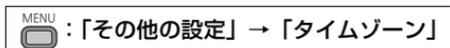
時計を設定する

電源を入れたとき、「タイムゾーンと時計を設定してください。」というメッセージが表示される場合があります。「はい」を選んで、タイムゾーンの手順2～3の操作で設定をしてください。

タイムゾーン

グリニッジ標準時からの時差を設定します。

1 メニュー設定する (P44)



2 ◀/▶をタッチして撮影する地域を設定する

- 日本で使う場合は「GMT +9:00」に設定してください。

3 「終了」をタッチして設定を終了する

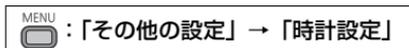
- 「時計設定」画面に切り換わることがあります。「時計設定」をしてください。

🔪 お知らせ

- タイムゾーン設定の変更に合わせて、本体の日付 / 時刻の設定も変更されます。

時計設定

1 メニュー設定する (P44)



2 合わせる項目 (年 / 月 / 日 / 時 / 分) をタッチし、▲/▼で数字を合わせる

- 2000年から2039年まで設定できます。



3 「終了」をタッチして設定を終了する

🔪 お知らせ

- 時刻表示が「—」のときは、内蔵日付用電池が消耗しています。内蔵日付用電池を充電するには、本機に AC アダプターをつなぐかバッテリーを取り付けてください。約 24 時間そのままにしておくと、約 6 か月間時計設定を記憶します。(電源を切った状態でも充電しています)
- メニュー設定すると、時計の表示方法を変更できます。「表示設定」→「日時表示」または「表示スタイル」

記録するメディアを選ぶ

ビデオを記録するメディアと写真を記録するメディアをそれぞれ「カード 1」または「カード 2」に設定できます。

1 メニュー設定する (P44)

 : 「撮影設定」 → 「メディア選択」

2 ビデオを記録するメディアと写真を記録するメディアをタッチする

- ビデオと写真それぞれに設定したメディアが黄色の枠で囲まれます。



3 「終了」をタッチして設定を終了する

メディアフォーマット

本機で初めてお使いになる SD カードは、撮影する前にフォーマットしてください。フォーマットすると、すべてのデータは消去されます。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

- 2 枚の SD カードを使用する場合は、2 枚ともフォーマットしてください。

1 メニュー設定する (P44)

 : 「その他の設定」 → 「メディアフォーマット」

2 「カード 1」または「カード 2」をタッチする

- フォーマット完了後、「終了」をタッチしてメッセージ画面を閉じてください。

お知らせ

- フォーマット中は電源を切ったり、SD カードを抜かないでください。また、本機に振動や衝撃を与えないでください。

フォーマットは本機で行ってください。(パソコンなど他の機器ではフォーマットしないでください。本機で使用できなくなる場合があります)

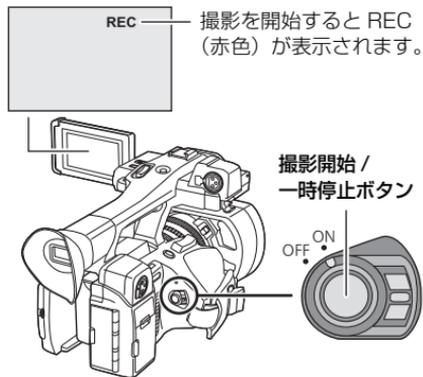
ビデオを撮る

1 撮影モードにする (P30)

- 液晶モニターを引き出してください。

2 撮影開始 / 一時停止ボタンを押して撮影を始める

- もう一度押すと、撮影を停止します。



写真を撮る

- USER ボタンに「CAPTURE」を設定する (P40)

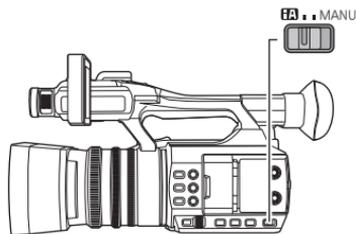
1 撮影モードにする (P30)

- 液晶モニターを引き出してください。

2 「CAPTURE」を設定した USER ボタンを押す、または USER ボタンアイコンをタッチして撮影する

- USER ボタンの位置および USER ボタンアイコンについては 40 ページをお読みください。
- 写真記録中に、残り記録可能枚数と写真動作表示 () が表示されます。

インテリジェントオート / マニュアル



インテリジェントオート/マニュアルスイッチをスライドさせて、インテリジェントオートモードとマニュアルモードを切り換えます。

- インテリジェントオートモード時は、**IA** が画面に表示されます。

■ インテリジェントオートについて

インテリジェントオートモード時は、オートトラッキングホワイトバランスとオートフォーカスが働き、自動で色合い（ホワイトバランス）やピント（フォーカス）を合わせます。また、絞り、ゲインおよびシャッタースピードで明るさを自動的に調整します。

- 光源や撮る場面によっては、色合いやピントが自動で合いません。このような場合は、手動（マニュアル）で調整してください。（P38）
- 以下の設定は、インテリジェントオートモード時に切り換えるとマニュアルモード時の設定内容が保持されません。
 - フォーカス（P38）
 - フォーカスアシスト
 - ホワイトバランス（P38）
 - アイリス（絞り）（P39）
 - ゲイン（P39）
 - シャッタースピード（P39）
 - 「シーンモード」

■ インテリジェントオートモード時に無効になるカメラ操作について

インテリジェントオートモード時は以下のカメラ操作が無効になります。

- アイリスリング
- フォーカスリング
- FOCUS A/M/∞ボタン
- IRIS ボタン
- GAIN ボタン
- SHUTTER ボタン
- WHITE BAL ボタン

■ インテリジェントオートモード時に無効になる USER ボタンについて

USER1 ~ 5 ボタンは設定した USER ボタン機能によって、インテリジェントオートモード時に使用できない場合があります。以下の USER ボタン機能を設定した場合は、マニュアルモードでお使いください。

- 「FOCUS ASSIST 1」
- 「FOCUS ASSIST 2」
- 「SUPER GAIN」
- 「AREA」
- 「PUSU AF」
- 「DRS」
- 「FLASH BAND」
- 「SUPER SLOW」

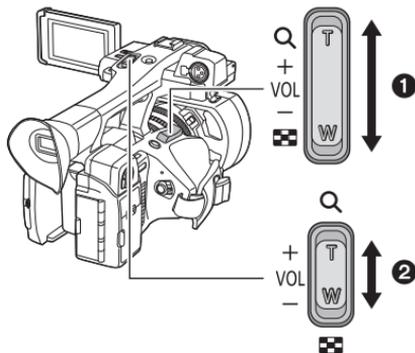
ズーム

20 倍まで拡大できます。

- 「iA ズーム」を「入」にすると、最大で約 40 倍まで拡大できます。
- ズーム倍率は Z00 ~ Z99 の画面表示で確認できます。ズームインすると数値が大きくなり、ズームアウトすると数値が小さくなります。

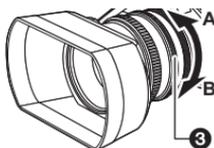
「iA ズーム」を「入」に設定すると、以下のように表示されます。

- iZ00 ~ iZ99 : 光学ズームの範囲
-  Z99 : iA ズーム時



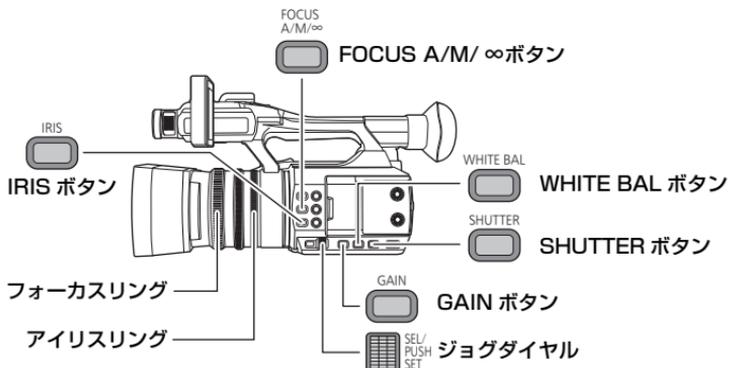
ズームレバー ^①/ サブズームレバー ^②

T 側 : 大きく撮る (ズームイン : 拡大)
W 側 : 広く撮る (ズームアウト : 広角)



ズームリング ^③

A 側 : 広く撮る (ズームアウト : 広角)
B 側 : 大きく撮る (ズームイン : 拡大)



フォーカス

フォーカスリングを使って、ピントの調整をします。自動でピントが合いにくいときに、手動で調整してください。

● マニュアルモードにする (P36)

1 FOCUS A/M/ ∞ ボタンを押して、マニュアルフォーカスにする

● AF から MF に切り換わります。

2 フォーカスリングを回して調整する

ホワイトバランス

光源などによって、色合いが自然でないときに、手動で設定してください。

● ジョグダイヤルを使って設定を変更します。

● マニュアルモードにする (P36)

1 WHITE BAL ボタンを押して、マニュアルホワイトバランスモードに切り換える

● 前回設定したホワイトバランスのモードに切り換わります。

2 ジョグダイヤルを回して、ホワイトバランスのモードを切り換える



アイリス（絞り） / ゲイン調整

暗すぎる（明るすぎる）場面で撮るときなどに手で絞り、ゲインの調整をしてください。

■ アイリス（絞り）調整

- マニュアルモードにする（P36）

1 IRIS ボタンを押して、マニュアルアイリスモードにする

- **STD** が非表示になります。

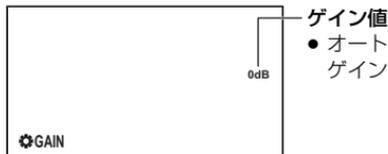
2 アイリスリングを回して調整する



オートアイリスアイコン

- オートアイリスモード時に表示されます。

■ ゲイン調整



- オートゲインモード時は「AGC」が表示され、マニュアルゲインモード時は dB 表示になります。

- ジョグダイヤルを使って設定を変更します。

- マニュアルモードにする（P36）

1 GAIN ボタンを押して、マニュアルゲインモードにする

- ゲイン値が dB 表示になります。

2 ジョグダイヤルを回して調整する



シャッタースピード

動きの速いものを撮るときなどには、シャッタースピードを調整してください。

- ジョグダイヤルを使って設定を変更します。

- マニュアルモードにする（P36）

1 SHUTTER ボタンを押して、マニュアルシャッターモードにする

2 ジョグダイヤルを回して調整する



USER ボタン

USER ボタンは、28 種類の機能からそれぞれ 1 つの機能を登録して使うことができます。

- USER ボタンは、本機の USER ボタンが 5 つ (USER1 ~ 5)、液晶モニターに表示される USER ボタンアイコンが 4 つ (USER6 ~ 9) あります。

USER ボタンを設定する

1 メニュー設定する (P44)



- 再生モード時は、「USER6」 ~ 「USER9」を設定できません。

2 登録する項目をタッチする

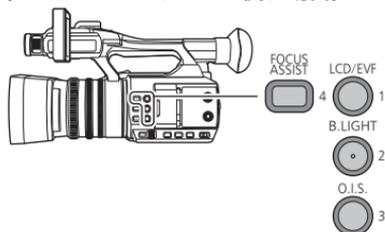
- 登録できる USER ボタンの機能については 41 ページをお読みください。
- 登録しない場合は「INHIBIT」をタッチしてください。
- ▲/▼をタッチすると、次の (前の) ページを表示します。

3 「終了」をタッチして設定を終了する

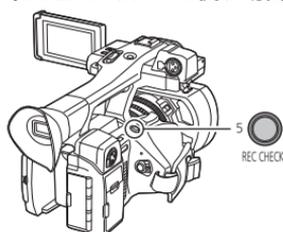
USER ボタンを使う

設定した USER ボタンを使うには、USER1 ~ 5 ボタンを押すか、操作アイコン表示中に、USER6 ~ 9 の USER ボタンアイコンをタッチします。

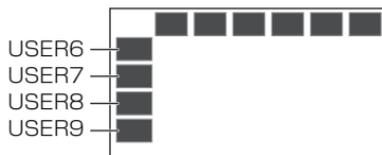
(USER1 ~ 4 ボタンを使う場合)



(USER5 ボタンを使う場合)



(USER6 ~ 9 ボタンを使う場合)



USER ボタンの機能

■ USER ボタン機能一覧

USER ボタン機能について詳しくは、取扱説明書（PDF 形式）をお読みください。

項目名	USER ボタンアイコン表示	機能名
INHIBIT	INH	無効
FOCUS ASSIST1	FA1	フォーカスアシスト 1*
FOCUS ASSIST2	FA2	フォーカスアシスト 2*
BACKLIGHT	B.Light	逆光補正
BLACK FADE	B.FD	黒フェード
WHITE FADE	W.FD	白フェード
SLOT SEL	SlotSel	スロット選択
ATW LOCK	ATW.L	ATW ロック
D.ZOOM	D.ZM	デジタルズーム
HISTOGRAM	HIST	ヒストグラム表示
REC CHECK	REC.C	REC チェック
LAST SCN DEL	LstDel	ラストシーンデリート
DRS	DRS	DRS*
FRZ FRAME	FRZ	フリーズフレーム
SUPER GAIN	S.Gain	スーパーゲイン*
AREA	AREA	エリア機能*
PUSH AF	PushAF	プッシュ AF*
CAPTURE	Capture	キャプチャー
EVF/LCD DETAIL	DETAIL	EVF/LCD ディテール
LCD/EVF OUTPUT	LCD/EVF	LCD/EVF 出力
LEVEL GAUGE	Level	水準器
LEVEL SHOT	LevelShot	傾き補正
FLASH BAND	FBC	フラッシュバンド補正*
PRE-REC	PRE-REC	PRE-REC
SUPER SLOW	Super Slow	スーパースロー記録*
AUTO REC	AutoRec	AUTO REC
O.I.S.	O.I.S.	手ブレ補正
ZEBRA	ZEBRA	ゼブラ
MENU	MENU	メニュー

* インテリジェントオートモード時は使用できません。

- USER ボタン機能は、以下のメニューから設定することもできます。
 - 「逆光補正」
 - 「ヒストグラム表示」
 - 「DRS」
 - 「水準器」
 - 「傾き補正」
 - 「EVF/LCD ディテール」
 - 「フラッシュバンド補正」
 - 「PRE-REC」
 - 「LCD/EVF 出力」
 - 「スーパースロー記録」

ビデオ / 写真を再生する



- 1 再生モードにする (P30)
- 2 プレイモード選択アイコンをタッチする
- 3 再生したいメディアをタッチする



- 4 (ビデオ再生モードにする場合)
再生したい記録モードと記録フォーマットをタッチする

- 記録したシーンがある記録モードは、文字の色が緑色で表示されます。
- タッチした記録モードによって選択できる記録フォーマットが変わります。
- 「決定」をタッチしてください。
- サムネール表示に記録モードアイコンが表示されます。

( /  / )

(記録モード「MOV」、「MP4」をタッチした場合)

- 記録フォーマットをタッチすると、サムネールに以下のアイコンが表示されます。アイコンは記録フォーマットのサイズによって変わります。
 -  : FHD (1920x1080) で記録したシーン
- 記録フォーマット「ALL」をタッチすると、選択メディア内にある同じ記録モードのすべてのシーンが表示されます。
他機器で記録したシステム周波数の異なるシーンは、サムネールに   が表示されます。本機では再生できません。

- (記録モード「AVCHD」をタッチした場合)

記録フォーマットをタッチすると、サムネールに以下のアイコンが表示されます。

-  : 「PS 1080/59.94p」で記録したシーン
-  : 「PH 1080/59.94i」、「PH 1080/23.98p」で記録したシーン
-  : 「HA 1080/59.94i」で記録したシーン
-  : 「HE 1080/59.94i」で記録したシーン
-  : 「PM 720/59.94p」で記録したシーン
-  : 「SA 480/59.94i」で記録したシーン



(写真再生モードにする場合)
写真 (JPEG) をタッチする

写真



5 再生するシーンまたは写真をタッチする

- ▲/▼ をタッチすると、次の (前の) ページを表示します。



6 操作アイコンをタッチして再生操作する



操作アイコン

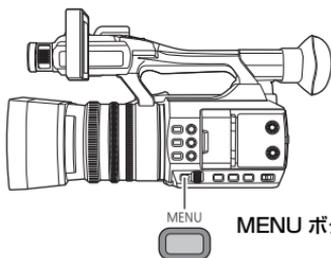
ビデオ再生		写真再生	
▶/	再生 / 一時停止	▶/	スライドショーの開始 / 一時停止
◀◀	早戻し再生※	◀◀	前の写真を再生
▶▶	早送り再生※	▶▶	次の写真を再生
■	停止してサムネール表示に戻る	■	停止してサムネール表示に戻る

※ 2 回タッチすると、早戻し / 早送り速度が速くなります。(画面表示が ◀◀◀ / ▶▶▶ になります)

- 操作アイコン表示中に画面をタッチする、またはタッチ操作しない状態が続くと、操作アイコンが消えます。再度表示する場合は、画面をタッチしてください。

再生

メニューを使う



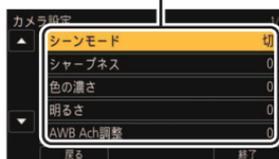
- 1 MENU ボタンを押す 
- 2 トップメニューをタッチする

トップメニュー



- 3 サブメニューをタッチする
 - ▲/▼ をタッチすると、次の (前の) ページを表示します。

サブメニュー



- 4 項目をタッチして設定する
- 5 「終了」をタッチしてメニュー設定を終了する

メニューの構成

詳しくは取扱説明書（PDF形式）をお読みください。

■ 撮影モードのメニュー構成

カメラ設定	「シーンモード」 / 「シャープネス」 / 「色の濃さ」 / 「明るさ」 / 「AWB Ach 調整」 / 「AWB Bch 調整」 / 「逆光補正」 / 「DRS」 / 「傾き補正」 / 「フラッシュバンド補正」 / 「NR コントロール」
システムモード	「記録モード」 / 「記録フォーマット」 / 「アスペクトコンバート」 / 「カメラ番号設定」
ユーザースイッチ	「USER1」 / 「USER2」 / 「USER3」 / 「USER4」 / 「USER5」 / 「USER6」 / 「USER7」 / 「USER8」 / 「USER9」 「USER ボタン表示」
スイッチ設定	「アイリス方向」 / 「スーパーゲイン」 / 「AGC リミット」 / 「ハイブリッド O.I.S.」 / 「スローシャッター」 / 「フォーカスアシスト 1」 / 「フォーカスアシスト 2」 / 「ピーキング色」 / 「ピーキングレベル」 / 「エリアモード」 / 「ゼブラモード」 / 「カラーバースト」 / 「サブ REC ボタン」 / 「サブズーム」 / 「デジタルズーム」 / 「iA ズーム」
撮影設定	「メディア選択」 / 「2 スロット機能」 / 「インターバル記録」 / 「スーパースロー記録」 / 「PRE-REC」 / 「DF モード」 / 「TCG」 / 「TC プリセット」
音声設定	「音声ローカット CH1」 / 「音声ローカット CH2」 / 「オーディオレベル CH1」 / 「オーディオレベル CH2」 / 「オーディオ ALC 連動」 / 「オーディオ ALC CH1」 / 「オーディオ ALC CH2」 / 「ライン入力 1」 / 「ライン入力 2」 / 「マイク入力 1」 / 「マイク入力 2」
出力設定	「出力解像度」 / 「ダウンコンバート」 / 「リモート記録」 / 「リモート記録連動」 / 「HDMI TC 出力」 / 「ヘッドホンモード」 / 「ボリューム調整」 / 「テストトーン調整」 / 「LCD/EVF 出力」
表示設定	「ゼブラ設定 1」 / 「ゼブラ設定 2」 / 「マーカー」 / 「撮影ガイドライン」 / 「セーフティゾーン」 / 「センターマーカー」 / 「記録時間カウンター」 / 「表示出力」 / 「日時表示」 / 「表示スタイル」 / 「水準器」 / 「ヒストグラム表示」 / 「オーディオレベルメーター」 / 「レンズ情報」 / 「カード・バッテリー」 / 「その他表示」 / 「パワー LCD」 / 「液晶調整」 / 「EVF 明るさ」 / 「対面モード」 / 「EVF カラー」 / 「EVF/LCD ディテール」 / 「EVF/LCD ピークレベル」 / 「EVF/LCD ピーク周波数」
その他の設定	「メディアフォーマット」 / 「メディア情報表示」 / 「撮影ランプ」 / 「時計設定」 / 「タイムゾーン」 / 「リング LED (青)」 / 「リング LED (赤)」 / 「クイックパワーオン」 / 「お知らせ音」 / 「エコモード (バッテリー)」 / 「エコモード (AC)」 / 「USB モード選択」 / 「初期設定」 / 「番号リセット」 / 「ソフト情報」 / 「LANGUAGE」
メンテナンス	「機器情報表示」 / 「アップデート」 / 「アワーメーター」

■ 再生モードのメニュー構成

ビデオの管理※ ¹	「リPEAT再生」 / 「続きから再生」 / 「シーンプロテクト」 / 「消去」
写真の管理※ ²	「シーンプロテクト」 / 「消去」
コピー	「差分コピー」※ ³ / 「選択コピー」
ユーザースイッチ	「USER1」 / 「USER2」 / 「USER3」 / 「USER4」 / 「USER5」
出力設定	「出力解像度」 / 「ダウンコンバート」 / 「HDMI TC 出力」※ ¹ / 「LCD/EVF 出力」
表示設定	「表示出力」 / 「日時表示」 / 「表示スタイル」 / 「オーディオレベルメーター」※ ¹ / 「カード・バッテリー」 / 「その他表示」 / 「パワーLCD」 / 「液晶調整」 / 「EVF 明るさ」 / 「EVF カラー」
その他の設定	「メディアフォーマット」 / 「メディア情報表示」 / 「撮影ランプ」 / 「時計設定」 / 「タイムゾーン」 / 「リングLED (青)」 / 「リングLED (赤)」 / 「お知らせ音」 / 「エコモード (バッテリー)」 / 「エコモード (AC)」 / 「USB モード選択」 / 「初期設定」 / 「番号リセット」 / 「ソフト情報」 / 「LANGUAGE」
メンテナンス	「機器情報表示」 / 「アップデート」 / 「アワーメーター」

※ 1. ビデオ再生モード時のみ

※ 2. 写真再生モード時のみ

※ 3. 外部メディア接続時のみ

著作権について

あなたが撮影（録画など）や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- “AVCHD”, “AVCHD Progressive”, および “AVCHD Progressive” のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby, ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI, High-Definition Multimedia Interface, および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, L.L.C. ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

- 本製品で SD メモリーカードに記録して、エンドユーザーに営利目的でそのカードを配布する場合には、別途 MPEG-LA とのライセンス契約が必要です。ここで言うエンドユーザーとは、個人使用目的でコンテンツを扱う人や団体を指しています。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、取扱説明書 (PDF 形式) の「メニューを使う」→「その他の設定」→「ソフト情報」に記載の方法で表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて GPL V2.0 または LGPL V2.1 に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と合わせて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<https://panasonic.net/cns/oss/index.html>

定格

メモリーカードカメラレコーダー

電源：

DC 7.2 V (バッテリー使用時)
DC 12 V (ACアダプター使用時)

消費電力：

27.4 W (撮影時：11.7 W、充電時：27.4 W)

は安全項目です。

記録規格：

MOV/MP4/
AVCHD Ver 2.0 (AVCHD Progressive)

映像圧縮方式：

MPEG-4 AVC/H.264

音声圧縮方式：

MOV/MP4：リニア PCM
AVCHD：Dolby Digital

動画記録：

記録モード：MOV、MP4、AVCHD
記録フォーマット：

- 「記録モード」=「MOV」、[MP4] 時
FHD 1080/59.94p 50M、
FHD 1080/29.97p 50M、
FHD 1080/23.98p 50M、
FHD 1080/59.94i 50M；
平均 50 Mbps (VBR)
- 「記録モード」=「AVCHD」時
PS 1080/59.94p；平均 25 Mbps (VBR)
PH 1080/59.94i；平均 21 Mbps (VBR)
PH 1080/23.98p；平均 21 Mbps (VBR)
HA 1080/59.94i；平均 17 Mbps (VBR)
HE 1080/59.94i；平均 5 Mbps (VBR)
PM 720/59.94p；平均 8 Mbps (VBR)
SA 480/59.94i
([アスペクトコンバート]=[サイドクロップ]、
[スクイーズ] 時)；
平均 9 Mbps (VBR)

画素数と記録可能時間は、取扱説明書 (PDF 形式) をお読みください。

静止画記録：

記録方式：JPEG (DCF/Exif2.2 準拠) 対応
記録画素数と記録可能枚数は、取扱説明書 (PDF 形式) をお読みください。

記録メディア：

SDHC メモリーカード (4 GB ~ 32 GB)、
SDXC メモリーカード (48 GB ~ 128 GB)、
UHS-I 対応

本機で使用できる SD カードについては、
28 ページを参照してください。

記録スロット：

2 スロット

2 スロット機能：

リレー、サイマル

システム周波数：

59.94 Hz

撮像素子：

1/3.1 型 MOS 固体撮像素子

有効画素

ビデオ / 写真；

約 603 万 (16:9)

レンズ：

自動絞り光学電動ズーム (フルレンジ AF)

F 値 (焦点距離)；

F1.8 ~ F3.6 (f=4.08 mm ~ 81.6 mm)

35 mm 換算；

ビデオ / 写真；

29.5 mm ~ 612 mm (16:9)

最短撮像距離

約 3 cm (WIDE 端) / 約 1.5 m (TELE 端)

フィルター径；49 mm

ズーム：

光学 20 倍、iA40 倍、

デジタル 2 倍 / 5 倍 / 10 倍

ホワイトバランス調整：

ATW、ATW LOCK、Ach、Bch、

プリセット 3200 K、プリセット 5600 K、

VAR (2000 K ~ 15000 K)

シャッタースピード：

1/8 ~ 1/8000

1/6 ~ 1/8000 (23.98p 時)

1/120 ~ 1/8000 (スーパースロー記録時)

スーパースロー記録：

撮影フレームレート；FHD 120 fps

スローモーション効果；1/2 倍速、1/4 倍

速、1/5 倍速

手ブレ補正：

光学式 (5 軸ハイブリッド手ブレ補正搭載)

傾き補正：入 / 切

モニター：

3 インチワイド液晶モニター
(約 46 万ドット)

ファインダー：

0.24 インチワイド EVF
(約 156 万ドット相当)

マイク：ステレオマイクロホン

最低被写体照度：

約 1.4 lx (スーパーゲイン 36 dB、
シャッタースピード 1/30 時)

内蔵 LED ライト：

照度：約 300 lx (1.0 m)
拡散フィルター使用時：約 70 lx (1.0 m)
照射角：約 30°
色温度：約 5000K
色温度変換フィルター使用時：約 3000K

映像出力：

HDMI 端子 (HDMI Type A 端子 × 1) ;
1080/59.94p/29.97p/23.98p/
59.94i、720/59.94p、480/59.94p、
ピエラリンク非対応
VIDEO OUT 端子：1.0 V p-p 75 Ω

音声出力：

HDMI 端子：リニア PCM
AUDIO OUT 端子：2ch
ヘッドホン出力端子：
φ3.5 mm ステレオミニジャック

カメラリモート：

φ2.5 mm スーパーミニジャック × 1
(ZOOM S/S)
φ3.5 mm ミニジャック × 1 (FOCUS/IRIS)

XLR 端子音声入力：

XLR (3 ピン) × 2 (INPUT1/INPUT2)
LINE: 0 dBu/+4 dBu
(メニューで切り換え)
MIC: -40 dBu/-50 dBu/-60 dBu
(メニューで切り換え)

USB：

Micro-B 端子：
ハイスピード USB (USB2.0 対応)
マストレージ機能 (読み出しのみ)

A 端子：

ハイスピード USB (USB2.0 対応)
外部メディア接続機能※
バスパワー対応

※ 32 GB 以下または 2 TB を超える外部メ
ディアは使用できません。

外形寸法 (レンズフード、アイカップ含む)：

幅 170 mm × 高さ 170 mm × 奥行き
335 mm

本体質量：

約 1500 g (SD カード、バッテリー含まず)

使用時質量：

約 1740 g (SD カード、バッテリー使用時)

許容動作温度：

0 °C ~ 40 °C

許容相対湿度：

10%RH ~ 80%RH

バッテリー持続時間：

27 ページを参照してください。

AC アダプター

定格入力

AC ~ 100 V - 240 V、
50 Hz/60 Hz、1.2 A

入力容量

79 VA (AC 100 V 時) /
99 VA (AC 240 V 時)

定格出力

DC = 12 V、3.0 A

 は安全項目です。

動作周囲温度：

0 °C ~ 40 °C

動作周囲湿度：

10%RH ~ 90%RH (結露なし)

質量：

約 225 g

外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)：

115 mm × 37 mm × 57 mm
(DC コード部を除く)

本製品 (付属品を含む) に表示の記号は以下を示して
います。

~ AC

= DC

 クラス II 機器 (二重絶縁構造)

保証とアフターサービス (よくお読みください)

故障、修理、お取り扱いなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（本書に付属）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保管してください。万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このメモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保守・点検

- 保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。
- 部品の劣化、ごみ、ほこりの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を行ってください。
- 保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 修理、保守、点検時には、情報漏えいしては困る本体設定情報はあらかじめ削除し、SDカードを外して、ご依頼ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認くださいのうえ、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は・・・

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書を参照してください。

■ 保証期間経過後の修理は・・・

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	メモリーカードカメラレコーダー
品番	AG-AC30
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

©Panasonic Corporation 2017

<無料修理規定>

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 - (ニ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
 - (ホ) 一般使用環境以外（例えば、強震、高温などの場所）に使用された場合の故障及び損傷
 - (ヘ) 取扱説明書に指定する磨耗性の部品、あるいは付属品の故障及び損傷
 - (ト) 本書のご提示がない場合
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (リ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はおお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はおお客様の負担となります。
- 故障、その他により正常に記録できなかった場合のデータ補修・記録内容の補償、及び営業上の機会損失等の損害に対する補償は致しかねます。また本機を修理した場合においても同様です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただきます。場合がございましたらご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行する者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。

※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

メモリーカードカメラレコーダー保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	AG-AC30		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間		
※ お買い上げ日	年	月	日
※ お客様	ご住所 _____ お名前 _____ 様 電話 () -		
※ 販売店	住所・販売店名 _____ 電話 () -		

パナソニック株式会社

コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 TEL (06) 6901-1161

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

